



第 492 号 令和元年 7 月 1 日  
発行所 京都市学校医会  
京都市中京区間之町通竹屋町下ル  
楠町 601-1 こどもみらい館 2 階  
TEL (075) 256-0351  
FAX (075) 241-3568  
発行人 林 鐘 声

## 薬物乱用防止教室の必要性

薬物乱用防止について児童生徒に話をする際、忘れてならないのは「ほとんどの児童生徒は薬物乱用に手を染めない」ことである。つまり彼らにとって、この話は「他人事」なのである。実際中高生になると、今までに何度も薬物乱用防止の話が聞かされているので「また薬乱の話か、既に知っている」という思いが強い。それにもかかわらず繰り返し彼らに薬物乱用防止を訴えるのは、刻々と使用形態が変化していく薬物についての情報を配信し、更に科学的知見に基づいた危険性・有害性等の啓発を行うことが必要と考えるからである。実際に岐阜薬科大学元学長の勝野眞吾氏が米国で収集したデータでは、1975年から2012年までの38年間、大麻（マリファナ）の入手しやすさは常に一定であるにもかかわらず（90%前後）、学校教育現場や地域が啓発活動を進め、若者の薬物に対する危険性の認識度を上昇させると乱用者の比率が一気に減少している。では、いかにして彼らの関心を引き出し、危険だという意識を持たせ、騙されないように指導するのか。薬物乱用防止教室を行う際、彼らにとって身近でありながら、結構知らないことの多い医薬品を例に出して乱用について話をする「興味を持たせ」という意見が寄せられる。本来医薬品は身体にとって異物であるため、使用するには必然的にルールが求められる。そのルールを無視（乱用）すると医薬品といえども薬物へと変化する。現に今問題となっている薬物の中には持っていても捕まらない「本来は医薬品」であるものも多い。国外からサプリメントとして入ってくる「スマートドラッグ」に至っては、ハイリスク薬の抗てんかん薬「ピラセタム（ミオカーム®）」、注意欠陥・多動性障害の治療薬「アトモキセチン

京都市学校薬剤師会副会長 三上由美

（ストラテラ®）」、頭部外傷や脳手術に伴う意識障害改善薬「シチコリン（ニコリン®）」等が、頭がよくなるとか成績が伸びるという理由で、親が積極的に子どもに与えるケースまである。作用機序も考えず目先の効果のみを求める行為は薬物乱用そのものである。このように薬物乱用と医薬品の使用はリンクする部分も多いため、「医薬品とは何か」をしっかりと認識させることで、薬物を見分け、危険を察知する能力も掘り起こせると考えている。

ところで、現在の大麻事情はなかなか難しい局面を迎えていると思う。その一つが、諸外国で刻々と増える大麻解禁である。なぜそれが許されたのかという理由の説明が十分でない「大麻は安全だから」という嘘がまことしやかにまかり通ってしまう。大麻の解禁について諸外国と日本との違いをわかりやすく説明するには、昼にも関わらず注射器を持ったまま上半身を前にかがめた状態で何人もが動けずに立ち止まっている、外国の街角に溢れるフェンタニル中毒患者の写真や動画を例にとると理解されやすい。日本では考えられないその光景は、大麻まで捕まえていられない現状をしっかりと物語っていてインパクトは強い。二つ目が、今後電子タバコ（VAPE/ヴェポライザー）が薬物の広がりに一役買う可能性があるのではないかという危惧である。電子タバコはカートリッジを入れるタイプで、外から異物を加えることが容易にできる。最近の大麻は、リキッドタイプやワックスタイプもあり、それらは臭いも少ないうえ、THC（テトラヒドロカンナビノール）の濃度も濃い。吸っていてもわかりにくいだけでなく、タバコだと思って吸ったら大麻だったということにもなりかねない。更に、驚くことに大麻取締法

での「大麻」とは、「大麻草（カンナビス・サティバ・エル）及びその製品をいう。ただし、大麻草の成熟した茎及びその製品（樹脂を除く。）並びに大麻草の種子及びその製品を除く。」となっているため、違法ではない大麻植物の主成分の一つ「CBD（カンナビジオール）」が商品化され、電子タバコの吸引用に大手通販や量販店等でも売られるようになってきているのである。このような状況の中インターネットなどで不良品を買えばTHCが含まれるものも当然出てくるであろう。

このように大麻が複雑化する中、昨今の児童生徒

の薬物使用では薬物をインターネットから入手している例が報道され、高校生からのアンケートでもインターネットなどに情報が載っているとの回答が多い事を考えると、大人が考えている以上に大麻は手に入れやすい状況にあると思われる。今後、子どもたちに啓発活動をしっかり行っていくには、小学校、中学校、高等学校が連携し、互いにどのような内容でどこまで伝えているのか等の情報交換をして、ステップアップした形で「あまたか」と思わせない教育形態を築くことが必要だと考える。

---

---

## 第70回指定都市学校保健協議会 前日学校医眼科研修会に参加して

東山泉小中学校前期課程学校医 長 村 吉 朗

5月25日新潟市において開催されました第70回指定都市学校保健協議会の前日学校医眼科研修会の概要につき報告をいたします。

講演は新潟市の羽生貴子先生による「学校保健と小児眼疾患」です。

内容としては眼科領域の学校保健の歴史から始まり、近視が世界的に増加している現状とその進行予防の試み、さらには心因性の視覚障害と進みましたが内科校医の私にとってもわかりやすい内容でした。唯一あつという間に過ぎてしまったため、その名前

すら間違っているかもしれませんが、スポットビジョンスクリーニングという機器が紹介されていました。眼科の先生方には周知のものなのでしょうが、私には全く分かりませんでした。

更に色覚異常にもふれられましたが、一度廃止された色覚検査を再度行い、さらにはその対応をしていくことの大変さが分かりました。最後にコンタクトレンズ障害にもふれられた30分でした。

なお、これらの資料は学校医会事務局に御座いますので必要な先生方は遠慮なく連絡下さい。

---

---

## 第70回指定都市学校保健協議会 学校医研修会に参加して

耳鼻咽喉科専門医会理事 鈴 木 由 一

令和元年5月25日（土）に新潟コンベンションセンター朱鷺メッセにて第70回指定都市学校保健協議会・学校医研修会が開催されました。

研修1の耳鼻科研修会では新潟県ののむら耳鼻咽喉科の野村智幸先生が「新潟県における耳鼻咽喉科学校健診の現状と健康教育について」という演題で講演されました。その内容はI新潟の耳鼻咽喉科健診の現状について、II新潟市の小学校の健診結果～

過去30年間の調査に最近の10年間を加えて～、III健康教育への取り組みでした。中でもIIIの健康教育への取り組みでは新潟耳鼻科医会で作成されたスライドCD「耳・鼻・のどの仕組みと病気」を全国の耳鼻科医会に紹介、配布されまたこのCDをテキストにして児童生徒・保護者・教職員などへの講話に使われているとの報告があり熱心な取り組みが紹介されました。

## 第70回指定都市学校保健協議会 課題別協議会 第1分科会「健康教育」報告

太秦小学校医 井本 雅 美

第1分科会では「生涯にわたり積極的に心身の健康の保持増進に取り組む子どもを育てる健康教育」というテーマで発表と協議が行われました。

No.5 児童の体力向上を図るための3本の矢  
～楽しい体育と体力向上タイムと地域の体力向上事業の取り組みを通して～  
福岡市立別府小学校 主幹教諭 中川 健太郎

○主旨：児童生徒自身が積極的に心身の健康保持増進を図っていく資質や能力を身に付けるための保健教育の在り方について協議する。

○協議の視点：

- 1) 健康課題を解決するために主体的に取り組む力を育てる保健教育の推進
- 2) 学校の実態を踏まえ、教育活動全体を通じて行う保健教育の在り方

○口頭提言題及び提言者

No.1 小学4年生への「命の大切さ」を伝える性教育 ～実践・評価・展開～

仙台市立小松島小学校 管理校医 川村 和久

No.2 医師会、消防局との連携で進める「いのちを守る教育」～千葉市を日本のシアトルに～  
千葉市立新宿小学校 養護教諭 岸平 直子

No.3 生活リズムの改善と定着をめざして  
静岡市立長田東小学校 養護教諭 渡辺 元美

No.4 スマートフォン等の使い方と健康について考える  
～生徒保健委員会の取り組みを通して～  
大阪市立高倉中学校 指導養護教諭 岡本 幹子

No.1 では、学校医の立場より、「命の大切さ」を伝える性教育活動の実践、評価、課題、展開について紹介されました。提言者は小児科を開業している医師で、開業当初より学校医に憧れていたという熱心な先生です。学校長の要請で、年一回4年生児童と保護者対象に体育の授業の外部講師として「いのち」「性」について教えているということですが、4年生は思春期の体の変化が表れる時期であり、また中高生になると親と性について話しにくくなることより、時期的にはちょうど良いようです。授業としての扱いになった場合、文科省の学習指導要領に沿って進め、結果を評価していく必要が出てくるということです。文科省の保健教育の参考書を見てみました。

No.4のスマートフォンについては、多くの問題を感じながらも、親にとっても子どもにとってもはや生活に欠かせない連絡ツールになっていることは確かで、その使い方やルールについて学校、家庭両方で試行錯誤しているのが現状ではないでしょうか。

## 第70回指定都市学校保健協議会 第2分科会「保健管理」に参加して

川岡東小学校医 山内 英子

第2分科会では「心身ともに健康な生活をおくるための保健管理のあり方」が協議主題でした。児童生徒の心身の健康・安全を守るための適切な保健管理の在り方について、児童生徒の実態を踏まえ、学校保健活動を円滑に行うための取り組みを協議の視点として、5ヶ所の小中学校から提言がなされ協議されました。

始めに名古屋市立浦里小学校学校医、鶴田光敏氏が「名古屋における成長曲線・肥満度曲線についてのアンケート調査(第二報)」についてお話されました。平成29年度から30年度の1年間で、成長曲線・肥満度曲線の認知度は増加していますが、実際にこ

れを学校医がいかに活用し指導し児童生徒の健康に貢献するかという課題が残りました。

運動器検診のテーマが同じなので、2题目的の京都市学校医会会長、林鐘声氏の「運動器検診－京都市の3年目の報告－」と5题目的の新潟市医師会理事、荻莊則幸氏の「新潟市における学校運動器検診の状況」が続けて発表されました。いずれも運動器検診の成果として脊柱側弯が多く見付き、四肢の有所見者、専門医受診の指示も少なくなり、四肢の障害、疾病の予防につながっていること。今後はストレッチの指導の他、運動器のケアの指導等、学校医ではなく、専門性をもつ整形外科医や理学療法士の対応

が相応しいこと。スクール・トレーナーのようなスタッフの養成，地域の医療機関と学校との連携の構築が大切であると考えられました。四肢の有所見者数については，報告にやや差があるようでした。

4 題目は堺市立浜寺石津小学校学校歯科医，白石敏彦氏が「歯みがき」は健康な生活を送るためのライフスキル～浜寺石津小学校の歯科保健教育を通して～」についてお話されました。地域のう歯罹患率が，平成18年度の堺市西区内の3歳児健診で1番高かったため，指導が始められました。その結果児童のう歯罹患率は少しずつ減少し，要受診者の歯科受診率も高くなりました。10年前に始めた歯科保健教育は学校の中で少しずつ定着し，継続的に行われ，今後も児童の口腔の健康づくりにつなげていきたいと締めくくられました。

5 題目は神戸市立白川小学校養護教諭永森陽子氏，保健主事福政武彦氏から「健康への主体者意識を育

む学校保健のあり方—学校保健委員会「災害を生き抜く心と体の健康をつくろう」の取り組みから—」のお話でした。健康意識の向上のために，学校保健委員会の取り組みを「教師主体」から「子ども主体」のものに変換していく必要があると考え，災害時の非常持ち出し品の内容のチェック，講演会の開催，そののち各学級での学習を行いました。その結果子どもたちが「自分たちに出来ること，周りの人のために出来ることを増やしていきたい」という主体者意識の芽生えを読み取ることができました。

4 題目の発表は，自身の出身の小学校の隣の学校であり，校章も殆ど同じなので，航空写真を見た時には自宅がうつっているかも，などと考えてしまいました。

林会長のお話は3年目の運動器検診の成果が充分に感じられるものでありました。

## 第3回 常任理事会

令和元年7月6日 於：事務局

**出席者** 林会長，井本・杉本副会長，山内専務理事，大久保・安野・川勝・西村各常任理事，嶋元眼科学校医会理事，鈴木耳鼻咽喉科専門医会理事，奥村議長，東道・長村監事

### ・会長挨拶

### <報告事項>

1. 第36回京都府歯科保健文化賞 6/2  
於：京都市勧業館みやこめっせ 杉本副会長
2. 色覚相談 6/4 1名，6/11 2名，6/25 2名
3. 第30回日本小児科医会総会フォーラム  
6/8，6/9 於：京都テルサ 後援  
「運動器検診」発表 林会長
4. 整形外科医会・学校医会連携会議 6/9  
中嶋先生 林会長 2～3/年開催予定
5. ツベルクリン反応検査 6/10～ 於：各会場  
対象者が多かった
6. 精神衛生研究会 6/13
7. 三師会 6/22 於：ラ・カジェット
8. その他 長村監事  
6/3 伏見工業高校定時制産業医巡視  
6/24 給食安全衛生委員会  
9月10月で6か所予定

### <協議事項>

1. 教育委員会との懇談会：運動器検診導入の効果，課題，整形外科医会との連携，熱中症対策等

2. 政令指定都市の教育委員会に行った上半身脱衣のアンケート結果：20のうち4政令指定都市は上半身脱衣，3政令指定都市は原則上半身脱衣
3. 伏見工業高等学校定時制 産業医について  
新たな産業医の決定は困難
4. 来年度総会会場については：京都ホテルオークラ？  
リッツカールトンは？
5. 第50回全国学校保健・学校医大会について  
11/23 於：埼玉 発表 林会長・安野理事
6. その他 京都府医学校保健委員会  
(林会長，井本・杉本副会長，長村監事)

### <関連学会・各種協議>

1. 教育委員会との懇談会 7/6 於：MOTOI
2. 令和元年度京都市学校保健会理事会・評議員会  
7/9 於：京都市総合教育センター  
2：00～ 林会長，井本副会長
3. 色覚相談 7/9
4. 精神衛生研究会 7/11
5. 南支部会 7/13 於：京都 瓢斗  
林会長，長村監事
6. 校園長会との懇談会 7/20  
於：京都祇園天ぶら八坂圓堂 5：00～
7. 京都市中学校選手権総合体育大会 柔道種目  
於：京都市武道センター  
7/20 渡辺全夫先生，7/21 児嶋貴久先生
8. 京都市小学生記録会第33回水泳記録会  
於：京都アクアリーナ 7/24 奥村先生
9. 第41回近畿学校保健連絡協議会 7/25  
於：兵庫県神戸市 参加者なし
10. 全理事会 8/3 於：瓢樹 5：00～
11. その他